

畜産ネットワーク ちば

2007年 6月 6日
第 7 号

発行所 (社) 千葉県畜産協会
〒260-0026
千葉市中央区千葉港4番3号
千葉県畜産会館内
発行人 森 英 介



就任に当たってのごあいさつ 千葉県農林水産部

部長 加 藤 勝

平成19年4月1日付で千葉県農林水産部長を拝命いたしました加藤でございます。

千葉県畜産協会の会員の皆様には、日ごろから本県畜産の振興に御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

本県は全国でも有数の畜産県のひとつですが、平成17年農業産出額は、残念ながら全国第2位から第4位になりました。しかし、畜産産出額においては8年ぶりに一千億円を超えており、乳用牛で全国第3位、豚で第4位、鶏で第5位、畜産合計で第6位の地位を占めております。

本県の畜産農家戸数については減少傾向にあります。各畜種ともに一戸当たりの飼養頭羽数は増加傾向にあります。

対外的には日豪FTA交渉、米国からの牛肉輸入規制の緩和圧力、バイオエタノール増産に伴うトウモロコシ価格の高騰等、畜産経営にとって非常に厳しい状況にあります。

また、国内においては、飲用需要の低迷に伴う生乳の計画的な減産、高病原性鳥インフルエンザ等海外悪性伝染病の進入防止対策、豚における慢性疾患対策等取り組むべき課題は多々あります。

こうしたなか、本県では「千葉らしさ」を活かし、他県に負けない農業・農村を構築するため、畜産、農産、園芸の各部門別に短期的な緊急戦略を策定するとともに、部門横断的・総合的に、中長期的な将来を見据えた「農業・農村づくり計画」を策定することとし

ました。これら計画作成に当たっては、生産者の生の声が反映されるよう努めることとしており、畜産関係者のご協力をお願いするところです。

本年度の新たな取り組みとしては、「県産豚ブランド化推進事業」により県産豚肉の戦略的な販売対策やその総称等を検討し、PR活動・セールスプロモーション等を展開しつつ、新たなブランド豚創出に係る支援並びに既存ブランド豚の生産拡大・販路拡大に対する支援を行うこととしております。

さらには、庁内横断的な取り組みとして「地域資源ブランド化プロジェクト」により、千葉の産品と地域をイメージできるような豚肉加工品の開発についても推進してまいります。

なお、飼料自給率の向上と飼料費の低減及び資源の循環利用促進の観点から豚、鶏へのエコフィード（食品残さ利用飼料）の利用を推進します。

また、「食の安全・安心対策」、「流通販売・消費対策」、「生産振興・経営支援対策」、「生産性向上に向けた生産基盤の整備・振興対策」、「地域資源・地域環境対策」及び「家畜衛生対策」等の取り組みについても、生産者及び千葉県畜産協会等関係者との連携の下に引き続き実施することとしておりますので、御協力のほどよろしくお願いします。

終わりに、県の行う畜産行政は、消費者・実需者の意識・動向を見据えながら、生産現場の創意工夫を広く活かしていくことが重要と考えておりますので、今後とも千葉県畜産協会会員の皆様方の御協力をお願い申し上げます。

も く じ

- ・ 就任に当たってのごあいさつ……………(1)
- ・ 通常総会を開催……………(2)
- ・ 平成19年度 社団法人 千葉県畜産協会 組織体制……………(3)
- ・ 平成19年度 千葉県 畜産関係機関一覧表……………(4)
- ・ マリンスタジアムinパーク2007……………(6)
- ・ 第22・23回千葉県種豚オークション無事終了!! (7)
- ・ 大盛会の平成18年度千葉県養豚大会……………(7)
- ・ 松本光正さん最優秀賞受賞おめでとうございます!! (8)

- ・ 知っているようで知らない畜産の世界を見て、聞いて、体験して、食べて、知る……………(9)
- ・ 千葉県養蜂協会が日中養蜂交流研修会を開催! ……(10)
- ・ NPO法人「いきいき畜産ちばサポートセンター」…(11)
- ・ 「ちば畜産レディースネットワーク設立総会開催される……………(12)
- ・ 編集後記……………(12)

通常総会を開催 ～全議案、原案通り可決承認される～

通常総会の概要

本会の通常総会は年2回開催され、平成19年3月に開催された総会では、主に平成19年度の事業計画や収支予算を協議し、5月に開催された総会では、主に平成18年度の事業実績や収支決算を報告し、承認を得るものです。各総会の詳細については、下記の通りです。

平成18年度第2回通常総会

平成19年3月12日千葉県畜産会館において開催され、定足数の規程を満たし総会は成立しました。議長には奥澤捷貴会長代理を選出し、下記5議案が提案されました。

第1号議案 平成18年度予算の変更承認について

第2号議案 平成19年度事業計画及び収支予算の承認について

平成19年度は、中央畜産会が新たに構築するシングルサインオン機能を活用し経営情報等を提供する中央情報活用体制整備事業、地域畜産経営の持続・発展のための人材活用モデル体制整備事業、エコフィード飼料の普及啓蒙・利用推進を図るエコフィード利用推進事業を従来の各種事業に加え、新たに推進します。

第3号議案 平成19年度会費について

第4号議案 借入金最高限度額及び借入先の決定について

第5号議案 役員の補欠選任について

以上、5議案を提出し、満場一致で承認されました。



平成18年度第2回総会であいさつする森会長

平成19年度第1回通常総会

平成19年5月28日千葉県畜産会館において開催、定足数の規程を満たし総会は成立し、議長には、奥澤捷貴会長代理を選出し、以下3議案が提案されました。

第1号議案 平成18年度事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認について

平成18年度に実施した事業では、継続して畜産コンサルタント等の総合支援事業・家畜防疫互助事業・地域養豚振興特別対策事業・価格補償をはじめとする経営の安定化を図る事業等を行いました。

加えて、昨年度からは消費者と生産者を結ぶふれあい体験交流の推進、今年度は新たに畜種を越えた仲間づくりとして「ちば畜産レディースネットワーク」を設立、また県・畜産団体等を退職した技術者の技能と人材を活用した畜産農家の支援システム「NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター」を全国に先駆けて設立、さらには食品残さの有効利用を図るための組織として「千葉県エコフィード利用推進委員会」を協会内に設置しました。

第2号議案 会員の新規加入について

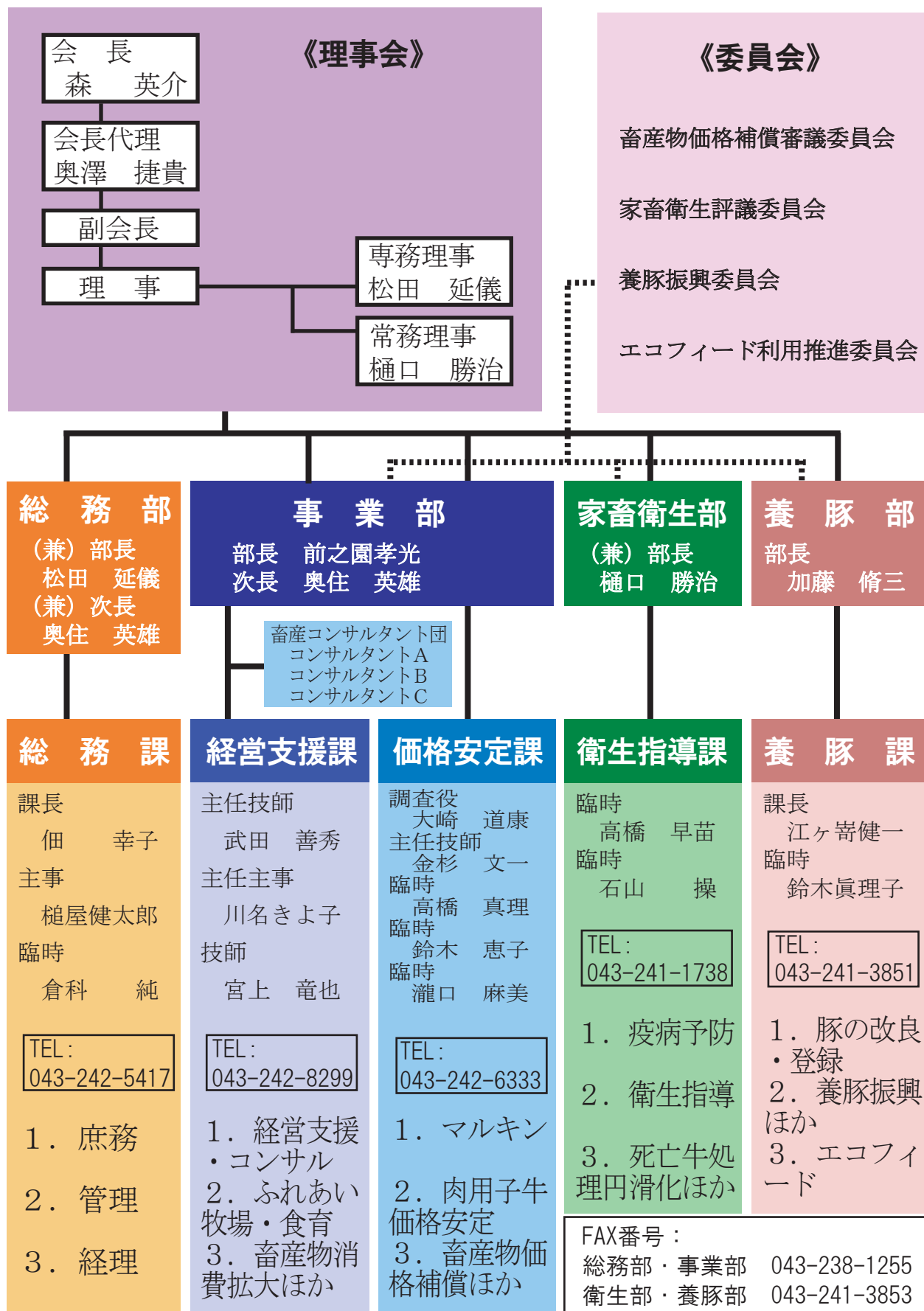
3月に8団体の入会に引き続き、さらに5団体の新規入会がありました。

第3号議案 役員の補欠選任について

以上、3議案を提出し、満場一致で承認されました。

平成19年度 社団法人千葉県畜産協会 組織体制

千葉県畜産協会は、以下の体制で事業を推進してまいります。よろしくお願いいたします。



畜産課 千葉市中央区市場町1-1
FAX:043-222-3098

中央家畜保健衛生所 千葉市花見川区三角町 6 5 8		
TEL:043-250-4141 FAX:043-286-0090		
庶務課	所長	広瀬 修
	次長	薫田 耕平
	課長	大和知恒雄
衛生指導課	副主査	深澤 朋子
	課長	明石 良信
	上席専門員	江森 格
	主任技師	村上 裕介
防疫課	主幹	山崎 修一
	上席専門員	菅沢 淳一
	上席専門員	坂元 依子
	専門員	松本 敦子
環境指導課	課長	高橋 岩雄
	上席専門員	武石 佳夫
	技師	萩原 妙子
佐倉市岩富町 4 9 7		
TEL:043-498-1431 FAX:043-498-1475		
病理生化学課	次長	岩渕 功
	主幹	伊藤 尚志
	上席専門員	石原 勇人
	上席専門員	早坂 成郎
	上席専門員	小川 明宏
	専門員	平畠 淳
	技師	関口 真樹

北部家畜保健衛生所 香取市岩ヶ崎台12-1		
TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996		
衛生指導課	所長	村嶋 孝志
	次長	玉江 俊嗣
	課長	村野 裕司
	副主幹	前林 知男
	上席専門員	青木 ふき乃
	上席専門員	飯嶋 武太郎
	技師	関野 友利華
防疫課	主任用務員	渡辺 あや子
	主幹	三輪 律子
	上席専門員	加山 一三
	技師	窪田 雅美
環境指導課	技師	中代 浩之
	課長	稲毛 幹雄
	上席専門員	堤 節子
	技師	鈴木 東美

畜産総合研究センター 八街市八街へ16-1 TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447		
部署	職名	氏名
総務課	センター長	米倉 義規
	次長	佐藤 尚三
	次長	大久保 貞裕
	課長	宮内 信吉
	副主任	猪野 精治
	主査	小川 敏夫
	主査	藤田 光子
	主事	糸久 貴子
	部長	塩沢 康正
	室長	田島 敏夫
企画調整部	企画情報室	主席 山田 真希夫
		主席 渡邊 晴生
		室長 染井 英夫
	経営調査室	主席 園原 邦治
		主席 鈴木 一好
		部長 小椋 滋
	乳牛肉牛研究室	室長 木下 善満
		主席 石崎 重信
		上席 丸山 朝子
		上席 川嶋 賢二
		研究員 西川 潤
生産技術部	養豚養鶏研究室	研究員 有路 優子
		室長 岡崎 好子
		主席 徳丸 洋一
		主席 村野 多可子
		主席 鈴木 邦夫
	養豚養鶏研究室	主席 高橋 圭二
		研究員 青木 大輔
		研究員 松本 友紀子

部署		職名	氏名
生産技術部	生物工学研究室	室長	神山 佳三
		主席	中根 崇
		主席	坂元 克弥
		研究員	山口 倫子
生産環境部	環境・資源研究室	部長	鮎川 伸治
		室長	山口 岑雄
		主席	大泉 長治
		主席	杉本 清美
	飼料研究室	室長	反町 裕
		主席	青木 ひかる
		主席	
		上席	細谷 肇

畜産総合研究センター 市原乳牛研究所		
市原市国本602		
TEL:0436-96-1231 FAX:0436-96-0956	所長	藤崎 俊治
	主幹	井上 貢
	主席	村田 宏之
	上席	平尾 明
	主査	三橋 恵美子
	主席	牛島 仁
	上席	齋藤 健一
	研究員	辰野 直子

畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所		
南房総市大井686		
TEL:0470-46-3011 FAX:0470-46-3012	所長	米本 貞夫
	主幹	松岡 邦裕
	主席	山下 秀幸
	主査	小原 利枝子
	上席	永福 和明
	上席	梶川 和彦
	研究員	千葉 耕司

所属	所在地	TEL	FAX	部署	職名	氏名
千葉農林振興センター	千葉市緑区 大金沢町 473-2	043-300-0950	043-293-2710	振興普及部	課長	梅原 彰
					副主任	岩澤 進
東葛飾農林振興センター	柏市柏 255-1	04-7162-6151	04-7162-6154	振興普及部	主査	市原 裕二
					普及指導員	大塚 洋功
印旛農林振興センター	佐倉市錦木 仲田町 8-1	043-483-1128 043-483-1130	043-485-9502	振興普及部	普及指導員	伊藤 禎昭
					副主任	陰山 潔
香取農林振興センター	香取市佐原イ 4149-57	0478-54-1320 0478-54-1338	0478-52-6580 0478-55-1703	振興普及部	副主任	西山 厚志
					普及指導員	小林 正和
海匠農林振興センター	旭市二 1997-1	0479-62-0334	0479-62-4482	振興普及部	副主任	本庄 章
					上席普及指導員	伊藤 静雄
山武農林振興センター	東金市東新宿 1-1-11	0475-54-0226	0475-52-7914	振興普及部	上席普及指導員	荒井 真澄
					上席普及指導員	伊藤 郁子
長生農林振興センター	茂原市茂原 1102-1	0475-22-6728 0475-22-1771	0475-25-2061	振興普及部	普及指導員	野村 俊介
					副主任	井出 基雄
夷隅農林振興センター	大多喜町 猿稻14	0470-82-4957 0470-82-3975	0470-82-5348 0470-82-3975	振興普及部	副主任	江森 美香
					上席普及指導員	向後 善史
安房農林振興センター	館山市北条 402-1	0470-22-8131 0470-22-8132	0470-22-0097	振興普及部	上席普及指導員	宮本 光浩
					普及指導員	木内 三男
君津農林振興センター	木更津市貝渚 3-13-34	0438-23-0299	0438-23-6698	振興普及部	普及指導員	新垣 裕子
					副主任	福島 達哉
千葉農林振興センター	千葉市緑区 大金沢町 473-2	043-300-0950	043-293-2710	振興普及部	主査	篠塚 正則
					副主任	柴田 修
東葛飾農林振興センター	柏市柏 255-1	04-7162-6151	04-7162-6154	振興普及部	上席普及指導員	平野 和則
					上席普及指導員	菅谷 茂明
印旛農林振興センター	佐倉市錦木 仲田町 8-1	043-483-1128 043-483-1130	043-485-9502	振興普及部	普及指導員	西部 香葉
					副主任	井口 明浩
香取農林振興センター	香取市佐原イ 4149-57	0478-54-1320 0478-54-1338	0478-52-6580 0478-55-1703	振興普及部	副主任	菊地 里佳
					普及指導員	宮田 昌明
海匠農林振興センター	旭市二 1997-1	0479-62-0334	0479-62-4482	振興普及部	普及指導員	君塚 時江
					主任技師	猪俣 一陽
山武農林振興センター	東金市東新宿 1-1-11	0475-54-0226	0475-52-7914	振興普及部	上席普及指導員	林 貴雄
					普及指導員	松野 健二
長生農林振興センター	茂原市茂原 1102-1	0475-22-6728 0475-22-1771	0475-25-2061	振興普及部	課長	廣山 健一
					副主任	柳川 芳輝
夷隅農林振興センター	大多喜町 猿稻14	0470-82-4957 0470-82-3975	0470-82-5348 0470-82-3975	振興普及部	上席普及指導員	北田 茂
					普及指導員	野中 太輔
安房農林振興センター	館山市北条 402-1	0470-22-8131 0470-22-8132	0470-22-0097	振興普及部	副主任	大小原 正弘
					副主任	渡辺 聡
君津農林振興センター	木更津市貝渚 3-13-34	0438-23-0299	0438-23-6698	振興普及部	上席普及指導員	山田 博
					上席普及指導員	柴寄 正博
千葉農林振興センター	千葉市緑区 大金沢町 473-2	043-300-0950	043-293-2710	振興普及部	普及指導員	丸山 武則
					副主任	中島 広史
東葛飾農林振興センター	柏市柏 255-1	04-7162-6151	04-7162-6154	振興普及部	副主任	檜山 学
					普及指導員	森 知夫
印旛農林振興センター	佐倉市錦木 仲田町 8-1	043-483-1128 043-483-1130	043-485-9502	振興普及部	普及指導員	渡邊 健一郎

生産者等59人の協力のもと今年も大盛況!!

マリンスタジアムinポーク2007!!

平成19年5月5日(土)、毎年恒例となったマリンスタジアムinポーク2007が千葉ロッテマリーンズスタジアム正面ブースにおいて「ナイス・ポーク・チバ推進協議会」の生産者・関係者59名が参加して、盛んに千葉県産豚肉消費拡大PR活動が開催されました。

当日は好天に恵まれ、当日の入場者は3万人で満員御礼が出るほどの超満員……。

今回は、ロッテ側の「千産千消」への理解もあって、球場正面の専用ブース(テント3×2間・2張り)を利用して焼肉鉄板3台で200kgを焼き上げ、無料で配布いたしました。

今回初の試みとして、正面特設ステージにおいて豚焼肉早食い競争が行われました。男・女の各部門でそれぞれ5名が豚肉(肩ロース)1kgの焼肉を5分間でどれだけ食べられるかを競い合いました。優勝者は男性で800g・女性で500gの焼肉を食べ、「大変美味しい豚肉でした」とのコメントを残し、優勝の賞状と賞品(豚肉加工品3,000円相当)を手中に収めました。参加者全員には、豚ロースブロック肉1kgをプレゼントいたしました。



今回200kgを焼いた
スタッフ…量の多さに閉口



焼き肉早食い競争(女性の部)優勝に笑顔

また、来場者5,000人へラッキーカードを配布して、当選者100人に豚ロースブロック肉1kgのプレゼントや、ロッテ選手を対象に安打賞(1ヒットに対し3,000円相当の加工品セットのプレゼント)を20本準備しました。

今年も『ナイスちば産ポーク』を大いにアピールした1日になりました。

この日のマリーンズは東北楽天に5-1で完勝し、5月5日10年ぶりの勝利となりました。

(養豚課 江ヶ崎 健一)



おいしい焼き肉に笑顔



「ブタミンパワー」で今年も日本一!頑張れ千葉ロッテマリーンズ!!

参加したナイスポークチバ生産者スタッフ

第22・23回千葉県種豚オークション無事終了!!

第22回セリ結果 (平成19年2月7日・購買者22名・前日枝肉価格 458円)

	品 種	性別	入場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	備 考
純 粋 種	ランドレース	雌	5	4	81,000	70,000	75,500	最高価格 グランドチャンピオン
		雄	—	—	—	—	—	
	大ヨークシャー	雌	2	2	77,000	73,000	75,000	最高価格 金賞豚
		雄	—	—	—	—	—	
	デュロック	雌	—	—	—	—	—	
		雄	25	22	160,000	61,000	94,909	最高価格 グランドチャンピオン
一代雑種	L・W	雌	55	39	50,000	35,000	41,308	
	W・L	雌	6	2	37,000	35,000	36,000	
計			93	69	160,000	35,000	61,217	販売成立 74.2%

第23回セリ結果 (平成19年6月6日・購買者20名・前日枝肉価格 538円)

	品 種	性別	入場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	備 考
純 粋 種	ランドレース	雌	13	3	81,000	70,000	75,500	最高価格 グランドチャンピオン
		雄	2	1	—	—	80,000	金賞豚
	大ヨークシャー	雌	3	1	—	—	35,000	
		雄	3	1	—	—	41,000	
	デュロック	雌	4	2	61,000	40,000	50,500	最高価格 リザーブチャンピオン
		雄	21	18	201,000	50,000	105,111	最高価格 リザーブチャンピオン
一代雑種	L・W	雌	44	43	67,000	37,000	50,628	最高価格 推奨豚
	W・L	雌	1	1	—	—	44,000	推奨豚
計			91	70	201,000	35,000	64,829	販売成立 76.9%

注) セリの価格は消費税抜きの価格です。

(養豚課 江ヶ崎 健一)

大盛会の平成18年度千葉県養豚大会 はるばる島根県より加地肇先生を講師に迎えて開催!!

去る2月16日(金)、千葉県畜産総合研究センター養豚部門の試験研究成果発表と併設して千葉県養豚大会が開催されました。例年、養豚生産者の関心の高いテーマで開催されているこの大会ですが、今年も参加者197名という多数の参加による開催となり、会場となった印旛農林振興センター会議室は溢れんばかりで、立ち見による参加者も出るほどの大盛況でした。

講演は「実践・繁殖成績改善手法・達成1母豚年間26頭肉豚出荷」と題して、丸永株式会社養豚事業部長で獣医師の加地肇先生により行われました。

講演内容は、『実践・農場成績アップ手法』従業員のやる気と豚の生理に関する内容で、基本的な部分の話が多く、経営規模が大きくなるほどこの基本的な部分を忘れていると思われるような内容でした。参加した生産者は、先生の話にうなずく部分が大変多かったのではないのでしょうか。大変意義ある養豚大会となりました。

(養豚課 江ヶ崎 健一)

■講演内容■

- ①豚を飼うのは人である。豚に食わしてもらっている気持ちを常に持ち続ける。
- ②数字に強くなければ、経営の向上はない。
- ③再発する豚は、2～3回交配しても結局種が付かないことが多い。
再発する豚はすぐに廃用する。その方が管理者が管理し易く、成績がアップする。
- ④発情再起日数を20日改善すると200頭多く子豚が増える(母豚550頭規模)
- ⑤発情再起日数(離乳～再発)はただ食いとなる。
- ⑥出荷する肉豚は必ず体重測定を行う。
屠場に併せた肉豚を出荷することが経営のコツである。
- ⑦経営者は従業員に対して数値で語る。
農場数値目標を立てる。……達成可能な数値
- ⑧成績向上は管理者の心構えが大切である。
- ⑨突発的な作業が生じた場合を除き、従業員に残業はさせない。

- ⑩管理者の豚に対するプロ意識を育てる。
- ⑪管理者の適材適所(性格などによる)
- ⑫管理の中では交配部門が最も大切である(交配マニュアル通りにはならない)
- ⑬種付け後の豚の移動は安定期が来るまで避ける。
- ⑭交配舎が最も衛生的で清潔でなければならない。
豚を安定管理できる場所で交配する。交配14日～25日が危険期間
着床するまでは維持飼料で管理する。……100日達したら飼料を増量する。
- ⑮人間が豚の気持ちになって管理することが大切。
- ⑯PRRS以前に、マイコ・寄生虫を考えるべきである。
- ⑰子豚5頭にピッカーが1個必要である。
- ⑱消毒は目に見える方法を選んで行う。……石灰
- ⑲死亡豚の教訓を生かす。……解剖
屠場における衛生検査データを大いに活用すべきである。

松本光正さん最優秀賞受賞おめでとうございます！！

～平成18年度 第37回酪農発表大会が開催される～



松本光正氏

平成19年3月27日（火）～28日（水）に千葉県鴨川市「小湊 ホテル三日月」において、関東甲信越酪農青年女性会議主催による酪農発表大会が開催されました。

この大会は、各地域の酪農青年女性会議が推薦する優秀な酪農家の酪農経営の成果を発表し、意見の交換を行い、生産性の高い安定的経営を確立し、国民経済の発展に資することを目的として毎年実施されています。

千葉県代表として酪農経営発表の部で鴨川市の松本光正氏が発表を行い、審査の結果、同氏が最優秀に選出され、平成19年7月19日（木）～20日（金）宮崎県宮崎市において開催される全国大会に出場することとなりました。

評価された理由として、

①飼養牛の少数精鋭化

（経産牛32頭、未經産牛7頭、子牛・育成牛14頭、搾乳牛1頭
当たり年間産乳量11,494kg、
過去生涯総乳量12万5,591kgを産乳し都府県生涯乳量歴代4位だった牛や現時点で通産乳量10万kgを超える牛を飼養）と長命連産（平均飼養年数：6年4ヶ月）

②地理的要因を克服する飼料の調達

（中産間地で平地が少なく、有害鳥獣が多い）

③耕畜連携による資源循環型農業の実践

（全量販売で地域の耕種農家へ品質の高い堆肥を供給している）

等があげられました。

今後は電牧を活用し放牧することによって自給飼料活用も計画しています。

また、更に消費者が安心して飲める牛乳提供の目標を掲げ、乳質向上をさらに進めることとしており、現状に満足することなく更なる経営改善を目指す姿勢が伺えました。

全国大会での健闘を期待いたします！！

①少数精鋭の牛たち



牛群検定や牛群調査・体型調査を全頭実施し、慢性的な乳房炎牛、肢蹄の弱い牛、初産乳量9,000kg以下で、体型調査80点未満の牛を淘汰対象基準とした

②自分で取りに行った飼料



有害鳥獣が出没することから自給飼料生産をやむなく中止し全量購入飼料だが、直接取りに行き3円/kg安く仕入れるとともに、いい草を選んで調達ができる

③高品質の堆肥を生産する施設



一年を通じて注文が多く春から秋には全く足りなくなるほど人気がある堆肥。耕種農家や家庭菜園用に販売している

知っているようで知らない畜産の世界を 見て、聞いて、体験して、食べて、知る

～地域畜産ふれあい体験交流推進事業～ 体験交流研修会、加工調理体験教室開催

安全・安心への関心が高まり、食に関する情報が多く世間にあふれていますが、消費者がよく知っているようで意外と知られていないことは、畜産の世界ではまだまだたくさんあります。畜産の正しい情報を知ってもらうための食育活動の一環として、地域畜産ふれあい体験交流事業において体験交流会、加工調理体験教室を実施しました。実施した詳細は以下の通りです。

体験交流研修会 平成19年2月27日(火)

消費者33名を対象に体験交流研修会を行いました。参加者は、最初に肥育牛を飼養する農家(横芝光町)の見学を行いました。見学先は主に交雑種を肥育する農家ですが、ここでは稲のホールクロップサイレージを調整し与えています。「人間が食べる稲を牛に食べさせるというのは驚いた」という声もありました。



肥育牛舎での見学



コープミート千葉食肉工場での見学

肥育農家の後は、食肉カット工場(匝瑳市)の見学を行い、安全・安心な食肉の供給を第一に作業していることが、非常に良く伝わりました。また、ソーセージづくり体験では、参加者のみなさん慣れない作業ながらも楽しく作りました。最後には、肥育農家の方と交流会を行い、畜産に対する思いなど生産者のお話を聞くと参加者からは、「これほど苦労をして育てているとは」「これで本当に利益があがるのか」「生産者ともっと身近になればいいと思う」などの感想もあり、参加者のみなさんには畜産を知るため、また生産者・関係者には消費者が考えていることを直接聞くことができるよい研修会となりました。

安全・安心な食肉の供給を第一に作業していることが、非常に良く伝わりました。また、ソーセージづくり体験では、参加者のみなさん慣れない作業ながらも楽しく作りました。

最後には、肥育農家の方と交流会を行い、畜産に対する思いなど生産者のお話を聞くと参加者からは、「これほど苦労をして育て



ちばコープ産直の家での交流会

加工調理体験教室 平成19年3月7日(水)

袖ヶ浦市平川公民館にて31名の参加者を集め調理体験教室を開催しました。

牛肉と牛乳・乳製品等の食材をメインとした料理を参加者みなさんで作り、美味しくできあがりしました。参加者からは特に牛乳から作るカスタードフルーツが好評でした。

試食のあと、袖ヶ浦市酪農婦人部のみなさんとの交流会が行われ、生産者からは「牛乳は飲むだけでなく、料理に使い



料理に牛乳を多く使いました

食べてもらいたい」、参加者からは「酪農家が今大変なことがわかった、がんばってほしい」などの意見を交わし、生産者と消費者をつなぐよい機会となりました。



身近な料理でも普段作らないレシピに感心

(経営支援課 宮上 竜也)

当日のメニュー ローストビーフ バターごはん(バターづくり)
コーンスープ カスタードフルーツ

千葉県養蜂協会が日中養蜂交流研修会を開催！

千葉県養蜂協会では、毎年3月中旬頃千葉県館山市「安房自然村」において、会員並びに準会員の養蜂技術・知識向上とお互いの親睦を深める一環として研修会を行っています。

今年度は本研修会とは別に視察研修会を行いました。

平成19年2月22日（木）から2月26日（月）の5日間の日程で、中国の雲南省「昆明」へ会員、準会員、事務局を含め計11人の参加により実施しましたので一部を紹介します。

【雲南省(昆明)の概要】

人口9,800万人(25民族)昆明市480万人
気候は温暖で南房総のそれに似ている
蜜源植物は多く150種類の花から採蜜している
工業は発達しておらず大気・土壤汚染されていない
ため、蜂蜜も汚染されていない
蜜蜂の飼育群数は98万群で、主な種類として東洋蜂70万群、西洋蜂20万群である
移動養蜂家も多く、国から繁殖指定地に指定されている県には中国各地から越冬に訪れる



昆明は南房総の気候に似ており、移動養蜂家が越冬に訪れるという点が千葉県における養蜂と共通する部分があります。

訪問した時期としては中国の春節（中国で最も重要で最大のイベント（旧正月）で、旧暦の1月1日を祝う大イベント）にあたり、各地でお祭りやお祝いの行事が行われていました。

協会を迎えてくれた雲南省養蜂学会の匡邦郁先生や地元養蜂家と懇談会を行い、養蜂を通じて日中の交流が和やかに行われました。



蜂生物葯有限公司で説明を受ける一行

2,000群の蜂を飼育、年間60tのハチミツと年間2tのローヤルゼリーを生産しており、採蜜期は4日おきに採蜜しています。ほとんどが定地養蜂ですが、菜の花の後には60km離れた標高の異なる所へ移動します。

昆明から羅平県へ行く有料道路の両端は茶色の硬い土、朝鮮牛による耕耘、人力による作業、菜の花栽培の主目的は菜種油の採取で、すべてが手作業で家族総出の仕事であり、戦後の日本を思い出させるような光景が広がっていたとの感想があり、少なからずカルチャーショックを受けた方もいたようです。

今回の視察研修で中国の養蜂事情の一端に触れられたと思いますので、日本での事業活動に役立てていただければ幸いです。

（千葉県養蜂協会 事務局）



広大な菜の花畑がつづく（高速道路・車窓から）

2日目の有限公司視察では、政府が支援している会社を訪れプロジェクト事業等について、映像を交えて説明を受けました。蜂蜜生産等にかかわる総合的な会社で蜂産品（はちみつ、ローヤルゼリー、花粉、プロポリス等）70種類が生産販売されておりローヤルゼリーやプロポリス等3種類は国から薬としての承認を得ているものもありました。

翌3日目、昆明から羅平県への移動は高速道路を使用しましたが、『羅平に近づく約100kmは両サイド一面菜の花畑でこれは見事なものであった』と参加した事務局からの言葉どおり、蜜源の規模に驚きながらナタネ畑の養蜂場で見学及び座談会が行われました。



現地養蜂場での見学



NPO法人「いきいき畜産ちばサポートセンター」

～登記手続きが完了、事業実施に向け走りだす～

昨年11月13日に設立総会を終えたNPO法人「いきいき畜産ちばサポートセンター」ですが、千葉県NPO法人課への認可手続きを経て、今年3月に認可が下りました。それを受け、4月には法務局への登記が完了し、正式にNPO法人として活動を始めました。

会員については、引き続き募集しております。ちばの畜産をいきいきとしたものにするために、皆さんの参加をお待ちしております。

(NPO法人「いきいき畜産ちばサポートセンター」事務局)

「畜産サポートNPO法人会員募集案内」

(NPO法人
いきいき畜産ちばサポートセンター)

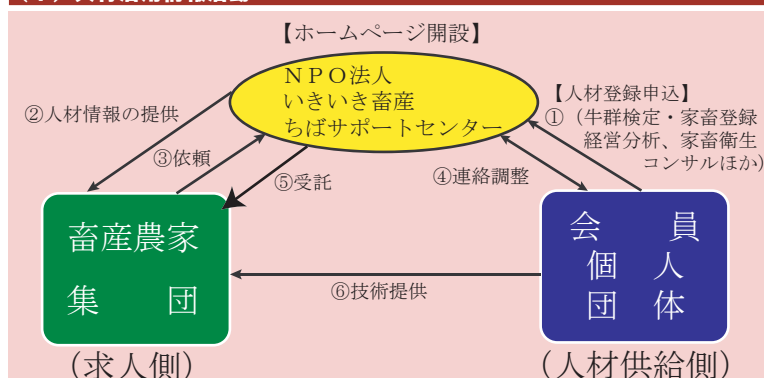
1. 趣 旨

私達は、県内で畜産業を営む人達等に技術提供をし、すこしでも社会貢献ができないかと考え、畜産関係者、その他によるグループのNPO法人を設立しました。活動内容は牛群検定指導、家畜登録、畜産経営分析等にかかる人材の情報発信をはじめ、ホームページ・ダイレクトメールによる畜産情報収集・提供、さらには消費者交流・動物ふれあい情操教育などを主に計画しています。

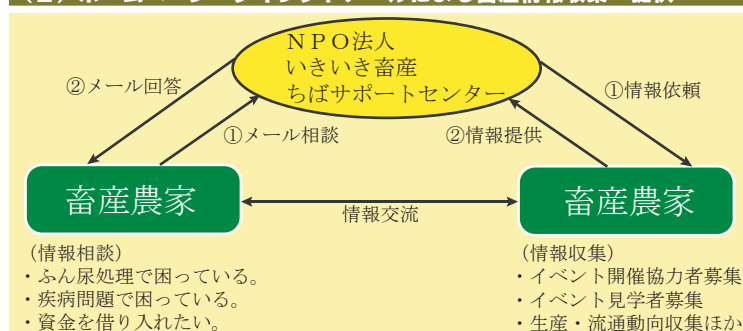
記

2. 活動内容

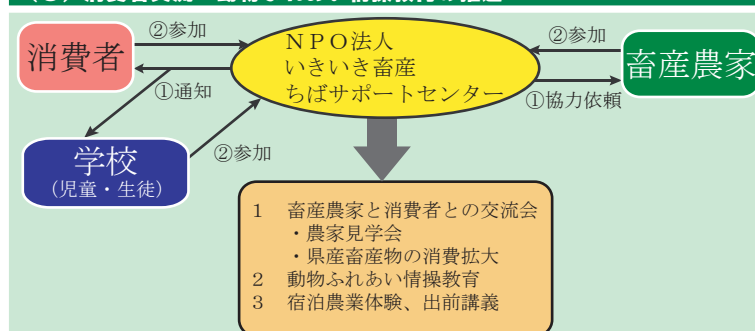
(1) 人材活用情報活動



(2) ホームページ・ダイレクトメールによる畜産情報収集・提供



(3) 消費者交流・動物ふれあい情操教育の推進



3. 募集内容

(1) 会員区分

正会員

目的に賛同し、会の運営を担う個人、団体

賛助会員

経済的支援を行う個人、団体、企業等

(2) 加入条件

- ・入会費、年会費の納入
- ・活動への参加協力とNPO法人目的の遂行

(3) 入会金

正会員 賛助会員

個人 1,000円
団体 5,000円

(4) 年会費

正会員

個人 3,000円
団体 10,000円

賛助会員 (一口)

個人 3,000円
団体 5,000円

お問い合わせ先

NPO法人 いきいき畜産
ちばサポートセンター

千葉市中央区千葉港4-3
千葉県畜産会館
社団法人 千葉県畜産協会内

TEL :
043-242-5417
(千葉県畜産協会)

FAX :
043-238-1255



平成19年3月23日（金）千葉市内ホテルポートプラザちばにて、千葉県内の畜産に携わる女性の方々が集まるネットワーク「ちば畜産レディースネットワーク」設立総会が、県農林水産部長をはじめとする来賓の皆様方と県内関係者約70名ほどの出席者を迎えて盛大にとり行われ、「ちば畜産レディースネットワーク」（会長：柴しづい）が発足しました。

全国的にも「全国畜産縦断いきいきネットワーク」が平成17年8月に発足して以降、各県でも畜産に携わる女性たちの組織が設立され、活動が活発化しています。千葉県でも、飼養畜種を越えて集まり、互いに交流を深め研鑽する場として、また消費者との交流・「食育」とおとして畜産をもっと知ってもらうための活動の場として設立されました。

設立総会当日は、設立準備会から参加の発起人を中心に、司会進行から議長などの役割を女性の方々が受け持ち、慣れないながらも設立総会を盛り立てました。設立総会ののち、3分スピーチとして女性の皆さんがそれぞれ普段考えていること、思っていることを語り合いました。明るく、力強いスピーチに終始和やかな雰囲気の中にも女性のパワーが感じられ、「ちば畜産レディースネットワーク」は発足したばかりですが、今後千葉の畜産がより発展していくための、大きな力になっていくのではと感じる一日となりました。

（経営支援課 宮上 竜也）

編集後記

新年度がスタートいたしました。最近は気温差が激しく、テレビや新聞で頻繁に言われている異常気象という言葉をもって感じている。

気温差で体調も悪くなるし、今後どのような異常気象が起こるのか心配である。家畜達も同じことを考えているのではなかろうか。

また、異常気象と同じように環境問題についても騒がれている。環境対策として、米国ではとうもろこしのエタノール化が進んでいる。環境には良いが畜産農家では、飼料の高騰により大変な問題だ。

21世紀は創造と発想の時代と聞いたことがある。食品残渣の再利用が進んでいるように、総合的に見て全てがプラスの方向へ進んでいけばと思う。

畜産協会としても畜産農家がより良い方向へ行くよう頑張っていきたい。

（価格安定課 金杉 文一）

総務課	TEL 043-242-5417(代)	FAX 043-238-1255	info@chiba.lin.go.jp
経営支援課	TEL 043-242-8299	FAX 043-238-1255	
価格安定課	TEL 043-242-6333	FAX 043-238-1255	tb-koushi@pop21.odn.ne.jp
衛生指導課	TEL 043-241-1738	FAX 043-241-3853	chieishi@aiores.ocn.ne.jp
養豚課	TEL 043-241-3851	FAX 043-241-3853	